

開校記念日・朝会講話（6月29日）

今日は、九条小学校の歴史についてお話しします。

6日後の7月5日（月）は、九条小学校ができた日、九条小学校の誕生日です。

九条小学校は、明治15年、西暦で言うと1882年の7月5日に気仙沼村立九条小学校としてできました。今年は令和3年、西暦で言うと2021年ですから、九条小学校を人にと考えると、139歳ということになります。

それから、今まで、九条小学校を卒業した先輩の数は4,528人です。今年の6年生の中で、校長先生から最初に卒業証書进行う人は第4,529号ということになります。

最初の名前が気仙沼村立九条小学校というように、九条小学校は、その頃の村の人みんなが力を出し合って建てた大事な学校です。今は気仙沼は村でなく市になっていますが、今でも地域の方々がこの学校をととても大事にしてくれていますし、地域の方々は九条小学校で勉強している皆さんのこともとても大事にして、朝や帰りに見守ってくれたり、体験学習のお世話をたくさんしてくれたりしています。ぜひ、感謝の気持ちをもって生活してほしいので、これからも地域で皆さんを見守ってくれている人たちと会ったときは、大きな声で挨拶してください。

皆さんに、今日お話しするために、校長室にあった本を調べてみました。すると、九条小学校は、昔から勉強に力を入れてきた学校だということが分かりました。九条小学校のマーク、校章といいますが、ペンで囲まれています。この学校ができた頃から、みんなで仲良く一生懸命勉強してほしいと言う願いが込められていることが分かります。校門のところをはじめ、いろいろなところに校章が使われていますので、発見したら教えて下さい。

また、校長先生もびっくりしたのは、校長先生が生まれた次の年には、4月から12月までの9ヶ月間だけですが、1・2・3年生は、今のこの場所で、でも4・5・6年生は何と気仙沼小学校で授業を受けていた時期があったそうです。同じ学校の児童なのに、分かれて生活していたそうです。

そして、もう一つ。先生方の中に、この九条小学校を卒業した先生がいます。だれだと思えますか？答えは、保健室の先生、斉藤綾先生です。その時は九条小学校はどんな学校だったか、綾先生に聞いてみるのもおもしろいですね。

最後に、九条小の3つのめあて「かしこく」「やさしく」「たくましく」についてお話しします。このめあては28年前からずっと使われていることが分かりました。

九条小の3つのめあて「かしこく」「やさしく」「たくましく」はとても分かりやすく、よくできためあてだなと思います。どうぞ皆さん、この3つのめあてを忘れないで、毎日元気よく勉強や運動を頑張ってください。これで、お話を終わります。